

2026 年度「授業時間割表」 ◆注意事項◆

1. 授業時間割表について

「授業時間割表」に掲載している今年度の時間割は、次のとおりに構成されています。

①共通教養科目・情報科目について

教育学部・人間科学部・文学部共通で履修する科目です。

②各学部の時間割について

外国語科目、体育科目、専門科目の順に掲載しています。専門科目の時間割は、「履修のてびき」に掲載したカリキュラム表に準じた「カリキュラム順」で掲載しています。

③クラス表記とクラス指定について

1)「クラス」表記について

科目が複数開設されている場合は、科目に「クラス」を付与しています。

クラスの欄に、「A1・A2、B1・B2」のように「アルファベット&数字」の組み合わせで記載されている科目は、「2 時限連続」や「異なる曜日時限で週 2 回」の授業を行いますので、必ず全ての時限を受講しなければいけません。

2)「クラス指定」について

時間割表の「クラス指定」欄に「○」が記載されている科目は、受講クラスの指定があります。別紙で公開している「クラス分け表」に従い、必ず指定されたクラスの授業を履修登録してください。ただし、「クラス分け表」に掲載がない科目でも、学部・学科・課程・専修等からクラス指定の指示があった場合は、その指示に従って履修登録をしてください。クラス指定がない科目のクラスは自由に選択することができます。

④非開講科目について

隔年開講、その他の事情により、今年度は開設されない科目です。

2. 授業期間について

①授業期間について

「2026 年度大学行事予定」を参照してください。「大学設置基準」(文部科学省令)により、春学期・秋学期とも 15 週の授業週を確保しています。なお、2026 年度は、授業を行う祝日・休日がありますので、十分注意してください。

②定期試験期間について

各学期の授業期間終了後に「定期試験期間」を設けています。「定期試験期間」は、主として筆記試験を行います。全ての科目で実施する訳ではありません。「定期試験期間」の時間割は、通常的时间割とは別に編成し、概ね定期試験期間の約 2 週間前に、学内掲示板にて伝達します。なお、科目によっては、定期試験期間中に「補講授業」を行う場合があります。

③授業・定期試験時間について

「授業時間」は、各時限とも 90 分授業です。月曜～金曜は 5 時限まで、土曜は 2 時限まであります(変則的に土曜の午後を利用して授業を行う場合もあります)。

2026 年度「授業時間割表」 ◆注意事項◆

なお、定期試験期間中についてもチャイムは通常授業と同様に鳴りますが、試験はチャイムが鳴った10分後に開始します。また、各試験時間は80分間を最長に科目ごとに設定します。試験実施については、科目担当教員又は試験監督の指示に従ってください。なお、定期試験期間中に限り、6時限目まで設定する場合があります。

【時間割（授業・定期試験）】

時 限	授業時間	試験実施時間（最長）
1時限目	9：10～10：40	9：20～10：40
2時限目	10：50～12：20	11：00～12：20
3時限目	13：10～14：40	13：20～14：40
4時限目	14：50～16：20	15：00～16：20
5時限目	16：30～18：00	16：40～18：00
6時限目		18：20～19：40

3. 集中講義・実習科目について

①集中講義について

時間割の曜日・時限欄に「集中」と記載された科目は、短期間に集中して行う授業です（期間内に15回実施します）。具体的な時間割は、教務課HPにて公開します。（集中講義は、主に「大学行事予定表」に定めた「集中講義期間」内に行いますが、土曜の午後や定期試験期間内に開設する場合があります）。

なお、同一の集中講義期間に複数科目の履修登録を行うと、授業日が重なることがあり、全ての科目の修得が困難な場合がありますので、十分注意してください。

【2026年度 集中講義期間】

春学期	2026年8月4日（火）～8月7日（金）、8月10日（月）
秋学期	2026年8月31日（月）～9月4日（金）

②実習科目について

時間割の曜日・時限欄に「実習」と記載された科目は、所定期間の実習を行うことにより単位を修得する科目です。

4. 教室変更・時間割変更について

「授業時間割表」に掲載した内容に変更が生じた場合は、赤字で修正し教務課HPに掲載します。特に学期の初めは多くの変更が予想されますので、履修登録前には、時間割変更がないか教務課HPをよく確認してください。

5. 履修登録の手続について

教務課HPに掲載した「[◎B!Naviでの履修登録手順](#)」をご確認のうえ、誤りのないように手続をしてください。**履修登録のされていない科目の受講は認められず、単位の**

認定もされませんので、十分に注意して下さい。

6. 再履修の手続について

前年度までに修得できなかった科目を、改めて履修登録することを「再履修」と呼びます。また、履修したい授業科目の開講年次が、自身の年次よりも下の年次の場合、過去に履修したことがなくても、「再履修」と同じ扱いになります。

1) 「再履修」を希望する場合は、科目担当教員へ再履修であることを伝え、授業に参加してください。なお、学部・学科・課程・専修等から再履修の手順について指示があった場合は、指示に従って履修登録を行ってください。

2) 外国語科目「英語」の再履修には、所定の手続を取ることであり、履修を認めます。手続の詳細は教務課 HP で確認してください。なお、手続を行わずに履修登録した場合は、履修を取り消します。

また、「英語」以外の外国語科目の再履修には手続は不要ですが、原則として「再履修者」専用クラスを受講してください。ただし、他の必修科目との曜日時限の重複等で「再履修者」専用クラスでの受講ができない場合は、他の開設クラスでの受講を受講してください。

3) 人間科学部の「人間科学の基礎」を「再履修」する場合は、所属学科の教員が担当するクラスを受講してください。他学科の教員が担当するクラスを受講することはできません。

7. 交通機関の不通や自然災害等による休講・休校措置等について

交通機関の不通や自然災害（台風等）により、学生の登下校の安全が確保できないと判断される場合や、交通機関が不通となる可能性が高く、学生の登下校及び授業運営に混乱が生じると予想される場合には、「休講」又は「休校」の措置をとる場合があります。ただし、教室等以外で開講する授業科目（オンライン授業）には適用されません。

「休講」：校舎敷地内において教員と学生が対面で行う授業（学生のみが校舎敷地内で授業を受ける場合を含む。）において授業を開講しないことをいいます。

「休校」：校舎敷地内（場合によっては校舎外も含む。）の自主的活動を含めた全ての教育学習活動を停止することをいいます。この場合は、原則として登校している学生には下校を指示することとなります。

「休講」又は「休校」の措置をとる必要がある場合は、越谷校舎緊急安全対策協議会が、前日の午後4時を目途に対応を決定し、学生には「文教大学情報掲示板 (BINavi)」及び「文教大学 HP」にてお知らせします。「休講」又は「休校」が予想される場合は、

2026 年度「授業時間割表」 ◆注意事項◆

大学 HP 等で、大学からのお知らせを確認してください。(大学への電話による問合せは受けられません)。

ただし、「休講」(又は「休校」)が決定していない状態で、授業担当者の判断により、対面授業をオンライン授業(リアルタイム型又はオンデマンド型)に切り替えて実施することがあります。時間割上の授業開始時刻の1時間前までに受講に必要な事項を授業担当者が「文教大学情報掲示板(B!Navi)」又は「manaba」等を利用してお知らせしますので確認してください。また、次の路線が何らかの理由で始発から越谷校舎最寄駅を含む区間において不通となった場合には、当該校舎の授業を次のとおりとします。

【東武スカイツリー線(伊勢崎線)】

- ① 午前6時までに運行された場合…平常授業
- ② 午前6時から午前10時までに運行された場合…午前中のみ休講
- ③ 午前10時現在不通の場合…午後も休講

(注意)

休講となる場合は、大学ホームページ、キャンパスホームページでも周知しますが、時間帯等により迅速に情報提供できない場合があります。また、**電話での問合せは、お受けできません。**落ち着いて情報を確認してください。

教務関係の情報は、下記の教務課ホームページをご確認ください。

【教務課ホームページ】

